

2006・10

NO.14

LETTER

目次

- ◆ 現在進行中 かがやきおひさま発電プロジェクト! (前田 昌宏)・・・2
- ◆ アーティストも環境問題への関心を高める一翼を (清水 玄太)・・・3
- ◆ 風力発電と太陽光発電 (林 敏 秋)・・・4
- ◆ 気候ネットワーク発表
検証ペーパー「オール電化住宅は地球温暖化防止に寄与するか?」の紹介
(龍池 妃都美)・・・5
- ◆ 冬の省エネ・我が家の場合 (深川 佳江)・・・6
- ◆ 理事に就任して (田原誠一郎)・・・6
- ◆ 2006年総会を終えて・・・7



特定非営利活動法人
きょうとグリーンファンド

現在進行中！ かがやきおひさま発電プロジェクト

前田 昌宏



保育園どうしのつながりから

みなさん、こんにちは。かがやきおひさま発電プロジェクトを担当している前田昌宏です。きょうとグリーンファンドがお手伝いするおひさま発電所も、今回のかがやき保育園で9機目を数えます。現在進行中であるプロジェクトについてお伝えします。

かがやき保育園は、伏見区山科川のほとり、2号機のあけぼの保育園と川を挟んだ反対側に位置します。子どもたちが、命の大切さや、四季のうつりかわり、自然の営みやふれあう喜びを知り、丈夫で明るい子どもに育つことを願って保育を実践されています。

今回のプロジェクトは、園長の村井祐昭氏がきょうとグリーンファンドの設置施設募集に応募いただいたことがきっかけです。村井園長はあけぼの保育園、陵ヶ丘保育園、春日野園の取り組みをご存知でした。これまできょうとグリーンファンドが関わらせていただいた園を通じ、また新たな園へつながりが生まれる。京都の地で“おひさま発電所”の取り組みが広がっていることをうれしく感じつつ、みなさんに知られていることから気の引き締まる思いでプロジェクトを担当させていただいています。

生活を見直す学習と環境づくりの工夫が・・・

おひさま発電所のプロジェクトでは、自然エネルギーの電力をただ消費するのではなく、省エネをして自らの生活を見直してもらうために環境学習を進めています。かがやき保育園でも同様に自然エネルギーや省エネ、地球温暖化の現状について環境学習を進めているのですが、プロジェクトが始まってからの園長先生の意識の高さと情報収集力には驚かされたのを覚えています。京エコロジーセンターの事業で「市民体験型太陽光発電キット貸出事業」があ

りますが、おひさま発電所の設置が決まるやいなや、園長先生がこの事業に申し込まれ、少しでも太陽光発電を身近に感じようと努められています。

その事業で貸し出しされた独立型の太陽光パネルを使用されたのが、7月下旬に行われたかがやき祭りです。午後4時からお祭りが始まったので太陽光パネルがちゃんと発電してくれるのか心配でしたが、園庭の日当たりのいい場所がちょうどあり、パネルに接続した噴水が元気よく噴き出して子どもたちの目を引いていました。当日は保育士さんが作成したパネルで温暖化問題の現状や省エネの大切さなどを訴えられており、私たちきょうとグリーンファンドも少し時間をいただき、子どもや保護者のみなさんに、おひさま発電所の取り組みが始まることをお伝えできました。

多くの企業による連携の広がりへ

プロジェクトは現在、寄付キャンペーンを開始して一ヶ月が経過しています。今後も保護者向けの学習会を開催するなど積極的に温暖化防止や省エネの重要性を伝えていきます。点灯式は2006年12月15日（金）を予定しています。かがやき保育園におひさま発電所が設置できるよう多くの方々のご支援・ご協力、よろしくおねがいします。

最後に、今回のプロジェクトは、東洋ゴムグループ環境保護基金をはじめ、KICS-LLC（合同会社きょうと情報カードシステム）、オムロン株式会社のご支援、ご協力をいただいています。特にオムロン株式会社とは、京のアジェンダ21フォーラム・自然エネルギーワーキンググループでの活動からご支援をいただくことにつながり、京都の地で様々な企業と連携が生まれているのだと大変うれしく感じたのを覚えています。

apbank fes'06 に行ってきました！！
アーティストも環境問題への関心を高める一翼を・・・

清水 玄太

きょうとグリーンファンドは、7月16、17日にapbankのイベントで、ブース出展をしました。apbankとは、坂本龍一氏、櫻井和寿氏、小林武史氏の3名のアーティストが拠出した資金を、自然エネルギーなどの環境プロジェクトに融資をする非営利組織です。アーティストによる自然エネルギー促進プロジェクト「Artists' Power」のメンバーが中心となって、環境問題に関する勉強会を重ねて設立された組織です。「おひさま発電所」の意義が理解され、「おおみやおひさまプロジェクト」で融資を受けたため、apbank fes'06で出展をすることになりました。

会場では、アーティストによるライブをはじめ、オーガニックフードの販売やごみの分別、融資先団体との交流を通じて、参加者が環境問題に関心を持てるものになっていました。また、会場内で使用さ

れているエネルギーやシャトルバスの燃料なども、一部で自然エネルギーが使われています。

グリーンファンドのブースでは、おひさま発電所と個人が身近にできる取り組みを紹介しました。イベントでは、アーティストの働きかけによって「環境配慮」という行動に関心を持つきっかけになった参加者が多いように感じました。参加者はごみを分別したり、オーガニックフードを食べたりすることで何かしら感じたことがあると思います。会場内の一過性の行動ではなく、感じたことを日常生活の中で当たり前に行っていくにはどうしたらよいか。アーティストが次のステップへ向けてどのような働きかけをするか今後追いかけていきたいです。

以下グリーンファンド参加者からの感想です。

★アーティストの知名度でこれだけ人を集められる。仕掛け人が変われば同じ「環境」でもやるのが大きく変わると感じた。また、ごみの分別など、仕組みができていれば普通の人も巻き込んでいける。一般の人の意識や、環境に配慮した社会へ転換していく手法は具体的にはまだわからないが、このイベントを通して、社会を変えることを考えることも難しくないと感じた。(大西恒平)

★参加者はライブに関心があると思っていた中で、思ったより融資先ブースに人が来るなど思った。がつがつしていない会場の雰囲気のおかげかもしれない。アーティストも上からの目線ではないのがよかった。(村上朋弥)

★今回は音楽を楽しむというところが中心であったが、コンセプトの軸を今までとはずらしたイベントが社会に与える影響は大きい。また、主催側にはもっとオリジナルな伝え方も、まだ考えられる余地があるように感じた。(前田昌宏)

★一日目は返却されないリユースカップが多く、影響力のあるアーティストが言っても無理な部分は多々あると感じた。一方で、会場は関心がなくても多くの環境活動をしている人と関わることのできる出会いの場であった。自分が聞きたいと思えば色々知れるところがよかった。(岡本久嗣)



みんなで記念撮影。ブース出展の様子です。

風力発電と太陽光発電

林 敏 秋 (ワーカーズコープ エコテック)

風力発電のメリットデメリット

京都議定書が発効し温室効果ガス削減の切り札として自然エネルギーに関心が高まっています。太陽光発電も順調な伸びを示しているようです。風力発電にも関心が高まり、マスコミにも風力発電の話題がよく登場するようになりました。きょうとグリーンファンドが市民共同おひさま発電所を作り始めたのは、北海道の市民風車の話を聞いたことがきっかけでした。太陽光発電は採算性が悪く、元を取るといってはほぼ無理です。しかし大型風力発電は投資型でも採算がとれます。北海道や東北で進められている市民風車は利息程度は還元されるようです。かくいう私も青森の市民風車にへそくりを投資しました。5年後にわずかな還元があるようです。

きょうとグリーンファンドでも市民風車について検討したことがあります。京都に風力発電を設置するにはあまりにも条件が合わず、おひさま発電所に絞った経緯があります。風力発電を設置する条件としては、風況が良く年間平均風速6 m/s以上は必要です。京都では丹後半島など京都北部に限られます。また道路などのアクセスや騒音問題、さらには高圧送電線などが近くに来ているかどうか等検討すべき課題がたくさんあります。最近ではバードストライクといって鳥が風車にぶつかる現象がたまに起こるので、環境保護団体からクレームが付くことなどもあります。京都は名所旧跡が多いので景観の問題もあります。風力発電は大企業などが事業として設置するケースが多く、全国各地で環境アセスメントや地元対策を十分行わなかったためにトラブルになるケースも出てきています。風力発電はCO₂削減効果も大きいのですが、設置するのは簡単ではありません。

では小型風力発電はどうかという話になります。最近京都市内の小学校に小型風力発電機が設置されはじめました。プロペラ型の小型風車が校庭などに

設置されているようです。京都議定書が発効し、自然エネルギーに対する関心が高まる中で学校に自然エネルギーが導入されることは大いに歓迎すべきことです。

しかし、小型風力発電について誤解している方が多いのです。住宅に取り付けられている太陽光発電は、系統連系といって関西電力と売り買いできるシステムです。小型風力発電は系統連系タイプではなく独立型でバッテリーに電気を貯めて使うタイプです。しかもプロペラ型は強風時振動も激しく、建物に直接取り付けるのはプロの間では御法度になっています。先日京都市内の学校に取り付けられているプロペラ型の小型風車を見る機会があったのですが、いくら環境教育用だとはいえあまりに簡便に設置されているので安全性に疑問を感じてしまいました。自然エネルギーを利用するのは大いに結構ですが、風の力をなめてはいけません。

地域に環境問題を考えるうねりを

私は風力発電を否定しているわけではありません。日頃、積極的に導入を図りたいとささやかながら努力しています。本当に自然エネルギーの普及を考えるなら、そのメリットとデメリットを正確に把握して導入してほしいと願っているのです。目先の利益や目新しさだけを追い求めて事業化したり、導入しても長続きしません。風力発電や太陽光発電を導入するのなら、それを取り入れることによってこれまでの生活のあり方や電気の使い方などを見直すきっかけにしてほしいのです。

きょうとグリーンファンドが進めるおひさま発電所で発電する電気は僅かですが、地域に省エネや温暖化を考えるうねりを作り出しています。京都市内の学校に設置された小型風力発電もそのよううねりにつながれば良いのですが……

IH もエコキュートも

効率がいいとはいえない



オール電化住宅導入による地球環境への影響、特に温暖化問題への影響にスポットを当て検証した標記報告書が、このたび気候ネットワークから発表されました。

オール電化住宅については実際の体験談も交え、これまで本ニュースレターでも 2 度に亘って取り上げてきました。今回はこの報告書の中身を少しだけ紹介しましょう。同報告書はネットより入手可能なのでご一読を勧めます。

オール電化住宅は今や全世帯の 3% 強に採用され、新築住宅では全国の 10% 以上、特に中国、北陸、四国電力管轄の地域では 60% 近い採用率となっています。

オール電化といえばテレビや新聞などマスコミを通じて盛んに宣伝されるのが IH クッキングヒーター。ガスコンロに比べ安全面、清潔面で優位に立つも、火力の点では劣ることや、使用できる鍋の制限、総出力の制限など問題点も多いようです。IH クッキングヒーターによる電磁波の問題が指摘されていますが、温暖化問題との関係に限定した本報告書ではあえて取り上げていません。

また電気温水器より高効率で経済的であるとして導入されつつあるエコキュート(電気式ヒートポンプ温水器)に関しても、深夜に沸かしたタンク内のお湯を入浴時にある程度再加熱しなければならず、蓄熱ロスや冬季、寒冷地での使用が経済性に影響を与えるなど、効率性においてやはり不確実性が見られると指摘しています。

オール電化住宅は

家庭の総電力量を増大させる



深夜電力割引やオール電化割引によって電気料金が安くなっても、それが CO2 排出削減に直結しないこと、むしろ大幅に CO2 排出増になっていること。またオール電化住宅による深夜電力使用の増加は、原子力発電所

の促進にもつながり、別の意味で環境問題を生じさせています。発電段階での排熱率の大きさ、送電ロスなどコンセントの向こう側で供給されている電気について思いをめぐらすことの重要性も説いています。

オール電化住宅をそのまま採用していくことは、家庭の総電力需要を増大させ、原発を中心に火力発電の増設をも促し、今後進めていくべき省エネ社会の構築、自然エネルギーの普及を妨げてしまいかねない。温暖化を防止するには何よりもエネルギー消費量を減らすこと、そのための政策作り、キャンペーンこそ求められ、オール電化住宅はこの流れに逆行するものであると述べています。

※ペーパー(A4判・18ページ)は下記より入手可能。

検証ペーパー「オール電化住宅は地球温暖化防止に寄与するのか」

< 06・8・25 京都 >

オール電化でCO₂増加

非政府組織(NGO)の環境団体「気候ネットワーク」はこのほど、家庭内で使用する全エネルギーを電気で賄う「オール電化住宅」の普及で消費電力が増え、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)排出量が増加しているとの報告書をまとめた。

調理にガスの火を使わないIHクッキングヒーターが「お年寄りや子どもでも安全」と人気が高く、オール電化住宅は全世帯の3%、新築住宅に限っては10%以上の普及率とされる。

気候ネットが試算

同ネットワークは、電気事業連合会が公表している電力統計情報を基に一世帯当たりの年間消費電力量をオール電化住宅で一万八千九百九十七ワット時、一般住宅三千六百二十ワット時と算出。発電で排出されるCO₂量を独自に試算し、これに對し、東京電力が報告した。それによると、東京、神奈川など二都八県をカバーする東京電力の管内で、二〇〇五年年度のオール電化住宅の一世帯当たりの年間CO₂排出量、反論している。

「一般住宅よりも69%多く」

は、一般住宅よりも69%多い七千六百七十七ワット時。北海道、東北など八電力管内でもオール電化住宅は一般住宅より50%以上多いCO₂を排出。関西電力管内は29%増だった。

気候ネットワークの平田仁子常任運営委員は「オール電化住宅は安全ばかりが強調され、CO₂が増えることは触れられていない」と指摘。

これに對し、東京電力が報告した。それによると、東京、神奈川など二都八県をカバーする東京電力の管内で、二〇〇五年年度のオール電化住宅の一世帯当たりの年間CO₂排出量、反論している。

冬の省エネ

～我が家の場合～

深川 佳子

まもなく、また寒い季節になりますね。皆さんは、部屋を暖めるのに何をお使いですか？ガス、灯油、電気？

我が家では、石油ファンヒーターを長年使ってきました。が、とうとう故障してしまいました。修理して使いたかったのですが、最近では、メーカーは修理に前向きでなく、新しいのを買ったほうがいいと勧めます。どうしようか、考えている間も寒さは待ってくれません。とりあえず、夏しか使っていなかったエアコンを使いました。

なぜ、今までエアコンを使わなかったか・・・、なんだか、あまり暖かくなさそう、温風で乾燥して喉を痛めそう、電気代が高くかかりそう・・・などと勝手に先入観を持っていたようです。

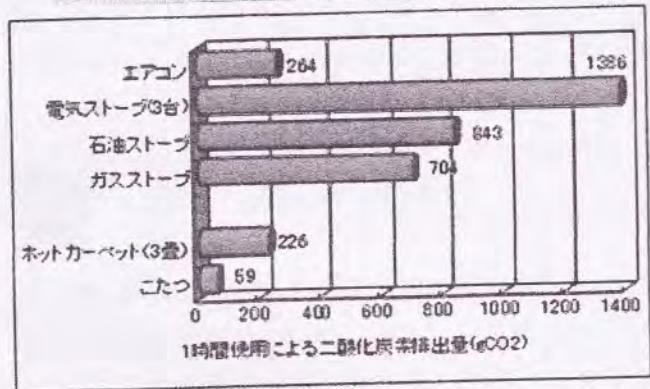
使ってみるとなんと、面倒な給油をしなくていいので楽、(夜に灯油がなくなったら、最悪ですよ！) 火が出てないので安全、温度調節がしやすいなど、なかなかいいではありませんか！今まで使っていた石油ファンヒーターでは、部屋を暖めすぎていたようです。

足元は、ホットカーペットを敷き(以前も敷いていました)、片面使用で電気代を節約。後で、暖房器具の中でエアコンが1番、二酸化炭素排出量が少ないと知りびっくり！

我が家では、このままエアコンでの暖房が続きます。うです・・・。

《ご参考までに》

いろんな暖房器具の二酸化炭素排出量の比較とエアコン使用についての留意点です。



部屋全体を暖める装置ではありませんが、コタツがもともと二酸化炭素排出が少なくなっています。やぐらの中を暖めるだけですが、これで家族全員が温まります。なんと石油ストーブの1/14しか二酸化炭素を出しません。コタツは世界に誇れる省エネ機器です。

「エアコンをおすすめできない場合」

- ・ 外が非常に寒い場合 (-10℃以下ではヒートポンプは動きません)
- ・ 機種が古い場合
- ・ 隙間風が激しい場合

「エアコンが暖まらないと誤解される場合」

暖かい空気は天井付近に集まります。天井が暖まると「室温が上がった」とエアコンが判断して、暖房を止めてしまう場合がありますので、空気をかき混ぜる必要があります。

～～(有)ひのでやエコライフ研究所のデータより抜粋～

<http://www.hinodeya-ecolife.com/ecowiki/165.html>

《 理事に就任して 》

田原誠一郎

地球温暖化は最近ますますそのスピードを増しています。その進行を少しでも遅らせるためには、私達一人一人が、自然エネルギーの利用や省エネルギーなど、使用エネルギーを少なくする生活に変えることが大切です。しかし、「地球の温暖化防止」という目標はあまりにも大きいため、少しぐらい電気を使いすぎても温暖化に大して影響はないだろうなどという決心がにぶります。これでは温暖化による被害は将来ますます大きくなり、「私達が無駄の多い生活を続けることが子や孫につけを残し、彼らが大きな被害を被る」のです。私は「孫につけを残さない生活をしよう」と考えることにしています。「子や孫のため」と考えると環境に優しい生活することも励みになります。

そのような中で、きょうとグリーンファンドがめざしている「おひさま基金構想」は大きな重みがあります。「環境のために、今私達ができる何かをする」ことで、子や孫の世代に少しでも豊かな地球環境を手渡すことにがんばってみませんか。今後ともきょうとグリーンファンドへのご支援をよろしくお願いいたします。



2006年の総会を6月3日(土)ひと・まち交流館福祉ボランティアセンター・ミーティング室で開催しました。(正会員総数53名のうち、出席は16名、委任状提出は9名)深尾昌峰さんを議長にお願いし、2005年度事業報告、決算報告、2006年度事業計画案、予算案はすべて原案通り承認されました。第5号議案の定款改定案は主に会員の記述についての曖昧さを整理するためのものです。「会員」という記述が議決権を持つ「正会員」を指すものか、議決権を持たない賛助会員や法人・団体会員を含めた総称なのか、改めてみると曖昧な記述になっていま

した。この指摘は、「認定NPO法人」申請を前提に変更相談した大阪国税庁からのもので、総会后認証が認められれば、認定NPO法人申請にむけて準備が整うことになります。

また、今年度は役員改選の年に当たります。新たに田原誠一郎さんが理事に就任され、青野宏子さん、山本時子さんが任期満了で、退かれました。

この後の理事会で、理事長：板倉豊さん、副理事長龍池妃都美さん、同鈴木範子さんの3人が、互選によって選ばれました。

収支計算書総括表

2005年4月1日から2006年3月31日まで

勘定科目	
[経常収入の部]	
会費収入	236,000
事業費収入	786,803
補助金等収入	3,843,000
寄付金収入	2,241,337
雑収入	510,067
経常収入合計	7,617,207
[経常支出の部]	
事業費	1,668,996
管理費	807,273
経常支出合計	2,476,269
経常収支差額	5,140,938
[その他資金収入の部]	
繰入金収入	2,475,000
その他資金収入合計	2,475,000
[その他資金支出の部]	
固定資産取得支出	7,686,000
繰入金支出	2,475,000
その他資金支出合計	10,161,000
当期収支差額	△ 2,545,062
前期繰越収支差額	4,449,886
次期繰越収支差額	1,904,824

貸借対照表総括表

2006年3月31日現在

勘定科目	
[資産の部]	
流動資産	2,070,818
固定資産	0
その他の固定資産	3,639,642
資産合計	5,710,460
[負債の部]	
流動負債	165,994
固定負債	
負債合計	165,994
正味財産	5,544,466
負債及び正味財産合計	5,710,460

* 収支の規模がこれまでに大きく膨らんで見えます。おひさま発電所7号機(04年度まで)までは、設備はすべて設置した保育園等のものだったのですが、NEDOの補助金の関係で今年度、大宮保育園8号機はGFのものになってしまいました。そのため事業内容はこれまでと変わらないのに、会計処理の方法が変わったためです。

5-8号機は京都ライオンズクラブからの寄付金に大きく助けられましたが、この設置助成事業は05年度で終了しました。

□きょうとグリーンファンドのメンバーになるには？

I. まず、会員の種類をお選びください。

(入会申し込み書は事務局まで)

正会員	10000円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。 ★「NPO法人社員」として会の運営に参加することができます。
賛助会員	6000円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。
法人・団体会員	10000円/年	催し物のご案内、会報(年2回程度)をお送りします。

II. 次に、払込みの方法をお選びください。

郵便振替 (年払い)	☆下の口座に直接振り込んでください。年1回 [郵便振替口座 00930-6-157817 きょうとグリーンファンド]
郵便局からの 自動払い (年払い)	◆ 正会員…年1回 10000円(入会月)が引き落とされます。 ◆ 賛助会員…年1回 6000円(入会月)が引き落とされます ◆ 法人・団体会員…年1回 10000円(入会月)が引き落とされます
郵便局からの 自動払い (月払い)	◆ 正会員…年1回 4500円(入会月)と、月々500円が引き落とされます。 ◆ 賛助会員…月々500円が引き落とされます。

★ろうきん口座からの自動払いの方法もあります。この場合手数料はかかりません。詳しくは事務局にお問い合わせください。

< ぐりふあん日誌 >

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 4/25 認定申請の件で 打合せ | 6/17 KICS/樋爪保氏、井澤俊幸氏、奥村洋史氏
小林満氏と面談、(京都ホテル) |
| 4/26 妙林苑(保育園)訪問・現地調査 | 6/22 講演「きょうとグリーンファンドの活動について」平和ミュージアム、京都生協平和大行進の取り組みの一環として |
| 4/26 自然エネルギーWG | かがやき保育園打ち合わせ |
| 4/27 あげぼの保育園打合せ(06 セミナーの件) | 6/27 ap bank fes 打ち合わせ |
| 4/27 '06 おひさま発電所設置施設、理事会了承、決定 | 7/07 事務局会議 |
| 4/28 '06 おひさま発電所設置事業決定通知発送(かがやき保育園) | 7/10 自然エネルギーWG |
| 4/28 京都CSR研究会参加(キャンパスプラザ) | 7/12 ap bank fes 用リーフレット作成 |
| 5/01 かがやき保育園打合せ | 7/13 京都府太陽光発電パネル普及懇談会(京都平安会館) |
| 5/09 事務局会議 | 7/15~7/17 ap bank fes '06 参加(掛川市) |
| 5/10 第50回理事会 | 7/19 かがやきプロジェクトチラシ打ち合わせ |
| 5/19 かがやき保育園セミナー | 7/22 大宮保育園夏祭り 参加 |
| 5/22 妙林苑訪問、事前調査 | かがやき保育園夏祭り 参加 |
| 5/23 ap bank fes 打ち合わせ | 7/26 第53回理事会 |
| 5/26 京都CSR研究会参加(キャンパスプラザ) | 8/05 地域活動支援/大宮地区まつり参加 |
| 5/30 自然エネルギーWG | 8/08 NEDO 採択者説明会 |
| 5/31 事務局会議 | 8/09 自然エネルギーWG、業者選定会議 |
| 6/03 きょうとグリーンファンド総会(ひと・まち交流館) | 9/05 事務局会議、業者選定会議 |
| 6/03 第51回理事会、第52回理事会 | 9/07 かがやきプロジェクト打ち合わせ |
| 6/06 あげぼのセミナーについて打ち合わせ | 9/14 かがやきセミナー打ち合わせ |
| 6/07 たかつかさ保育園を訪問、園長と面談 | 9/25 大阪国税庁に認定申請について相談 |
| 6/08 社会還元事業についてKICSと面談(四條紫雲会事務所) | 9/27 第54回理事会 |
| 6/13 ap bank fes について、打ち合わせ | 10/06 かがやき保育園セミナー(保護者対象) |
| 妙林苑打ち合わせ | 10/08 NPO 活動入門講座で報告 |
| あげぼの保育園セミナー/省エネ提案ゲーム | |
| 6/16 事務局会議 | |

特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

事務局 〒600-8104

京都市下京区五条通高倉西入る万寿寺町143

いづつビル6F (火~金 13:00~17:00)

TEL/FAX 075-352-9150

E-mail grifan@h7.dion.ne.jp

ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf>

